

メキシコの留学生が日本の土木技術を学ぶ

6月28日、長岡技術科学大学のメキシコからの留学生ら6名が日本の土木技術を学ぶために八箇峠道路の工事現場を見学しました。この見学会は、留学期間中に効果的な工学教育を行い「日本語のできる指導的技術者の養成」を目指す同大学の「メキシコツイニング・プログラム」に協力して、実施しました。

留学生は、工事の説明を受けるたびに、多くの質問をしながら、日本の高度な技術を学ぼうと熱心に聞いていました。

施工現場が整理整頓されていることや、安全帽や安全チョッキも徹底されていること、少数の作業員で工程管理されていることなどに大変驚いていました。「将来は、日本で技術者として働きたい。」と希望を語ってくれました。



工事の説明を熱心に聞く留学生



スノーシェットの施工状況を映像で説明



日本の技術に興味津々